

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立博物館協議会		
事務局 (担当課)		生涯学習部博物館 電話042-750-8030		
開催日時		令和2年12月22日(火) 午前10時～正午		
開催場所		博物館大会議室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	5人(博物館長、他4人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 議題 (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う博物館の対応と経過について 資料1-1、1-2 (2) 博物館活動評価書について 資料2-1、2-2 (3) その他 ア 開催中の企画展について イ バックヤード見学について		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 経過

兼杉館長による開会につづいて、令和2年度の博物館職員体制の報告ののち、岩野会長よりあいさつがあり、会長の司会により議事を進行した。まず、事務局より定足数と傍聴の有無（傍聴者1名）について説明の後、議題に入った。

2 議題（○は委員の発言、●は事務局の発言）

（1）新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う博物館の対応と経過について

事務局から、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う博物館の対応と経過について配布資料に基づき説明を行った。

○今後、展示解説の動画配信など他に何か作る予定はあるのか。

●全部の分野ではないが、展示解説の動画配信や令和3年3月から開催予定の考古企画展も展示解説動画の配信を検討している。

○新しく動画配信したというのをホームページのトップページにわかりやすく載せてほしい。文字が多いので見てすぐわかるようなものにしていただきたい。

○夏休み期間に博物館実習を予定どおり行っていただきありがたかった。文化庁から実習についての指針が出されて以降、今年度の実習を取りやめるという通知が他の博物館等から相次ぎ、結果的に例年の半分程度しか受け入れてもらえず、学内実習となった学生もいた。

○6月以降再開して、いろいろな行事や展示等が再開したが、参加された方々の意見、声をわかる範囲で聞きたい。

●企画展のアンケートには、「9月から企画展を再開し、こうした状況でも博物館、プラネタリウムを運営してくださり、ありがとう」という意見や、団体の受入れをお

断りしている館が多い中、受け入れていることに対して感謝されることが多かった。

○受け入れている団体はどんな団体か。

●市内の小学校や幼稚園、保育園、高齢者の団体、市外の小学校などが来館している。今年は例年行われている市内全小学校4年生による学習利用が中止となり、利用される場合でも人数制限のため大規模校などは2グループに分けて来館している。

○当初の予定で「はやぶさ2」に関連したイベントはどのようなものを予定していて、実際何%開催できたのか。

●8月に開催予定だった企画展が中止となったが、それ以外は、ミニ展示やカプセル帰還パブリックビューイングなど、この状況下でできるものを、JAXA宇宙科学研究所や観光・シティプロモーション課と協力して開催した。また、JAXA宇宙科学研究所の方を講師に招き講演会を予定していたが、開催はできず、代わりに動画配信を行った。

○「はやぶさ」初号機では微粒子等が見られる展示を開催していたが、「はやぶさ2」の今後の予定や、展示の仕方など見通しがわかっていたら教えていただきたい。

●「はやぶさ2」に関してはこれからJAXA宇宙科学研究所や観光・シティプロモーション課と調整をして何かイベントができればと考えている。

○新型コロナウイルス感染症が流行して以来、プラネタリウムの人数を制限して70名にしているとのことだが、70名で十分なのか。

●夏休み期間中は観覧者が多く、特に子ども向けプラネタリウムはすぐに満席となることが多かった。秋以降は、子ども向けプラネタリウムが満席になることはあったが、来館者が少ない傾向の時期ということもあり、土曜・日曜は例年の半分以下だった。

○プラネタリウムを日曜日と平日夕方に見に行った。中の椅子は間隔をあけていたが、換気はどのように行っているのか。

●換気は各回の上映の間に行っている。また、マスク着用の呼びかけとともに、上映が終わった後は全席消毒を行っている。通常は解説員と観覧者の対話式のプログラムを取り入れているが、現在は行わないようにしている。設備が古いため、空調で換気を行うことは難しい。

(2) 博物館活動評価書について

事務局から、博物館活動評価書について配布資料に基づき説明を行った。

○相模川ふれあい科学館はいろいろなところにチラシを貼っているが、博物館でもできないのか。

●広報さがみはらに掲載したものは自治会に配布できないというルールがある。何か方法がないか模索しているところである。

○相模原市立博物館の存在を知らない人が多い。特に南区（町田周辺）では博物館もJAXA宇宙科学研究所も知らないという家族が多いように感じる。小さい子どもにプラネタリウムは良いと思うので、何か知ってもらえる方法があればよい。

○広報活動は非常に重要なのでこのような意見は重要。

●広報はより一層取り組むべきと思っている。イベントにより対象となる層が違うので、対象に合わせて広報するようにしている。また、去年は団体の利用案内チラシを市外にも配布した。WEBの閲覧環境の無い市民もいるので、そうした方々への広報の周知方法も検討している。

○ホームページは、見やすく、新しいものはすぐわかるようにする、また、若い方だとツイッターなどをやっているのだから、それをどう生かしていくかが重要。ホームページやツイッターを見やすくすることをお願いしたい。

○各新聞に展覧会情報があるが、それに相模原市立博物館は載っていない。それをうまく利用できないのか。掲載している館としていない館は何が違うのか。

●新聞社の裁量で決まっている。大きな博物館はイベントの後援に新聞社を入れていることが多く、そうした実績によっても掲載されているのかもしれない。当館も相模原市記者クラブに情報提供はしている。

○有料の博物館が載るのか。相模原市立博物館もプラネタリウムは有料なので、載せられないのか。

●無料で規模の小さい館も載っているのに、一概に有料の博物館が載っているとはいえない。

○入館者数が13万人なのは、入館料が無料である効果だと思われるので、有料になると減少するのではないかと思われる。入館無料というのは大事であり、今後も無料の中で市民に還元するということが重要である。プラネタリウムの値上げについて若干検討の余地はあると思うが、今の金額が適切かどうかを検討していかなければならない。

○ある館では、開館当初有料で入館者数も多かったが、その後減少してしまった。この館の場合は、入館料を無料にした方が赤字が少なくなるとのことで有料から無料に変更している。入館料を徴取することが博物館の経営にプラスになるわけではないと思う。博物館法にもあるとおり公立の博物館では、入館無料を守っていただきたい。

○理科や総合的な学習の時間で多くの学校から利用されていることを知らなかった。もっと学校へ周知をしてほしい。学校が欲しいと思う資料を博物館と相談する機会はあるのか。やはり指導主事の配置が必要なのではと思う。

●指導主事がいるところは、「学校と博物館の連携を進める研究会」を設けて定期的に検討する機会があった。現在は、退職校長の職員が学習指導員として配置されているので、そこで相談できればと思う。e-ネットSAGAMIの他に周知する場があまりなく、また、小中学校の数が多いため一律の支援は難しいが、希望があれば対応していきたい。学校のニーズや、学習の目的の中で学習支援の位置づけ等は事前の打ち

合わせですり合わせをしている。一方で、教員の側で博物館を利用するという選択肢を持っていない場合はつながることができていないのが現状である。

○遠足でもいいから、年に1回は来るようにしてもらいたい。まだそういうところが足りないのではないか。

○本市では小学4年生が必ず博物館に来ることになっている。児童はプラネタリウムをととても喜んでいる。今年は、新型コロナウイルス感染症の関係でできていない。

○弥栄高校では一斉に博物館に来ることはしていないが、サイエンス部が博物館と連携しており、生物チーム、プログラミングチームが活動している。博物館で活動したいというときはすぐ相談できるのか。昨年度はイベントに参加させていただいたが、研究の中身で参加できることはないのか。理系の大学等に聞くこともできるが、せっかく近くに博物館があるので利用したい。アプローチの手段がわからない。

●これまでも弥栄高校や他の市内の高校と連携しているが、文化系の部活動は所属する生徒の人数や志向によって活動の内容が変わるため、安定的に支援活動が行えているわけではない。学芸員の方から積極的に研究の支援を行うきっかけがなかなか無いのが現状であるが、要請があればぜひ研究支援を行っていききたい。

○学校側も博物館側も待ちの姿勢だと思った。子どもとの会話でスマホからの発信や「インスタ映え」スポットなどがあるといいとの話があった。興味のある場所でないとまた来ようとは思わない。まず、何をやっているのかわからないし、市民に展示が周知されていない。広報さがみはらに掲載したものは自治会で周知できないとのことだったが、それだと知る機会が減ってしまう。子どもだけではなく、親世代への周知も必要ではないか。ネットで「面白い博物館」と検索すると、相模原市立博物館がでてくるのもったいない。ツイッター、YouTubeで面白いことやっているよ、と発信するのがいいのではないか。

○広報する際は、絵で見せるなど視覚から訴えることが大事である。また、博物館を

どう認知してもらうのが大事である。広報については、できることできないことがあるが、こういった生の声を今後に活かしていただきたい。

○地域の中で博物館は市民にとってどういうものだろうと疑問に思った。この市の歴史などを伝えて育てていくこと、また、伝えていく中身が重要である。これからどういうスタンスでやっていけばいいのか。

○学芸員の行っている業務がとても多いが、職員数は足りているのか。学芸員の増員の要求などはしないのか。

●学芸員は分野に1名、業務の多い分野は2名配置している。班内で負担を分担しながら業務ができればと思っている。また、職員については定数15名に加え再任用職員や会計年度任用職員の雇用配置も行っている。

○市民学芸員制度はとてもいいと思う。ボランティアの学芸員50名程度が登録されているのをもっと活かしていければと思う。せっきく時間があって博物館の活動を支援してもらっているのだからもっと積極的に参加をお願いしてもいいのではないかと。市民の会も同様である。しかし、市民学芸員が学芸員の人員補充の策になってはいけない。

○チラシを自治会に配布できないとの話があったが、自分がマンションに掲示するというのは問題ないのか。

●組合等の判断でマンションの掲示板に掲出することに問題ない。自治会回覧については、直接自治会の方にお話ししたり、エリアを限定して配布したりするなどはできると思われるが、市の博物館としてエリアを限定した周知については検討中である。

○市民学芸員は毎年新しい方を募集しているのか。ボランティアの人数が増えると博物館職員の負担も増えるのでそこも考慮してほしい。

●市民学芸員は、2、3年に一度募集している。

○定量評価資料について、入館者数は令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響

による休館、また、毎年開館日数も違うと思うので、1日平均も併記したほうがいい。
また、予算が削られる中で入館者数と予算は密接な関係だと思うので、予算も記載したほうがいい。

(3) その他

ア 開催中の企画展について

事務局から、開催中の企画展について説明を行った。

○「学習資料展」は昔の展示だけでなく、新型コロナウイルス感染症に関連した新しい生活様式の展示もあり、これから取り入れていくというアピールになったと思う。

「色々な石展」はコロナ禍で仕方がないとは思いますが、触って参加できる展示があれば良かったと思う。

○なかなか情報が届かない。老人会などに自治会を通して周知できればいいと思う。

口頭で広めるよりも直接チラシを渡す方がより効果的と思うので、いただいたチラシで地域の人に広めようと思う。

○高齢者への広報は、アナログの方が効果的と思う。自治会への周知を再度検討していただきたい。自治会の回覧板の枚数だけでもチラシを配れないか。高齢者には視覚からの情報がより効果的だと思うので、チラシやパンフレットなどを配ればよい。

○コロナ禍でできないとは思いますが、「学習資料展」でも足踏みミシンや黒電話など触れるものがあるとよい。来年お願いしたい。

●常設展示でも触れる展示があるが、現在は閉めている。企画展も含め、この状況が収まったら体験型展示を増やしていきたい。

○淵野辺駅の改札を出たところの博物館コーナーが非常に小さい。駅の左側に広報が置いてあるところに博物館のチラシ等を置いてもらえないか。

●もう少し目立つようにしたい。駅のパンフレットスタンドも活用できるよう検討

していきたい。

○地元の人が相模原市立博物館を知らないというのはどうかと思うので、周知できればと思う。

イ バックヤード見学について

事務局の案内により、希望者のみバックヤード見学を行った。

●次回は3月に開催予定である。

以 上

相模原市立博物館協議会委員出欠席名簿

	氏 名	備 考	選出区分	出欠席
1	沼澤 俊宏	市立内郷小学校校長	学校教育	出席
2	五十里 雅子	県立弥栄高等学校副校長	同	出席
3	戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育	出席
4	林 さとみ	市立小中学校PTA連絡協議会副会長	同	出席
5	吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	出席
6	岩野 秀俊	日本大学生物資源科学部特任教授	学識経験者	出席
7	浜田 弘明	桜美林大学人文学系長・教授	同	出席
8	藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 副所長	同	欠席
9	遠藤 正典	市民公募	市の住民	出席
10	谷内 多賀子	市民公募	同	出席